

## 6) (A) 治療期間 一月ごと内訳 (X医師)

年月	期間	日数	必要内服分数 (日数 x 3回分)
2000年07月	05日	1/3日	01回分
2000年07月	06日~31日	26日	78回分
2000年08月	01日~31日	31日	93回分
2000年09月	01日~30日	30日	90回分
2000年10月	01日~31日	31日	93回分
2000年11月	01日~30日	30日	90回分
2000年12月	01日~31日	31日	93回分
2001年01月	01日~21日	21日	63回分
2001年01月	22日	01日	02回分
治療期間及び必要内服分数の合計		2011/3日	604回分

注：診察は主に午後に行われたので、7月5日は、1/3日に当たる。

## 7) (B) 実際の処方内服分数 (X医師)

処方番	処方日付	処方日	実際の処方 内服日数分	実際の 内服分数
第1	2000年7月5日	水曜日	14日分	42回分
第2	2000年7月19日	水曜日	30日分	90回分
第3	2000年8月21日	月曜日	30日分	90回分
第4	2000年9月18日	月曜日	30日分	90回分
第5	2000年10月20日	金曜日	30日分	90回分
第6	2000年11月24日	金曜日	30日分	90回分
第7	2000年12月25日	月曜日	30日分	90回分
実際の処方内服分数の合計			194日分	582回分

## 8) (C) 比較 (X医師)

治療期間及び必要内服分数	2011/3日間	604回分
実際の処方内服分数	194日間	582回分
不足分の合計	-71/3日間	-22回分

9) (A) 治療期間と、(B) 実際の処方内服分数を比較する事により、2011/3日という治療日数に渡り22回分の内服が足りなかった事が明らかになります。

10) 私は、内服をせずにいらなかった事をよく覚えていますので、問題はどのようにやっていたかという事になり、下記の内訳によりその問題を解答してみたいと思います。ジャドスン医師の第3意見書によると、下記の可能性があります。

1. 私は処方を徐々に開始した。
2. 過去(8月)の処方量により内服分数が余り余分を溜めた。
3. 処方内服を服用して忘れた為の余分が初期段階において発生した。
4. 薬物摂取の減量の試みから発生した処方量の使い残しがあった。

注：ジャドスン医師の説明によると、私の依存症が進行するにつれて服用せずに済む能力は低下していた筈なので、これについても対応しています。

また、それぞれの新しい処方内服分を診察日の夜分から計算することにしました。

その理由、診察は主に午後に行われた為、診察日の朝分と昼分は、前回の処方の残り分を使った可能性が高いからです。

### 処方明細

処方	処方日	曜日	日数	内服分	担当医師
第1回	2000年7月5日	水曜日	14日分	42回分	X医師

### 実際の処方内服分数

月	日	曜日	朝	昼	夜	dzm	日数	備考	
6月	30日	金						第1回診察（処方なし）	
7月	01日	土							
7月	02日	日							
7月	03日	月							
7月	04日	火							
7月	05日	水			<del>(1) 1</del>		(1/3)	← 第2回診察・第1回処方	
7月	06日	木	(1) 2	<del>(1) 3</del>	<del>(1) 4</del>	07mg	1	最初の数日間、身体が薬に慣れるよう内服を少しずつ摂り始めた。幼いころから薬をこのように内服するのを母に勧められた。また、私は夜の時から内服開始しない習慣もある。	
7月	07日	金	(1) 5	<del>(1) 6</del>	<del>(1) 7</del>	07mg	2		
7月	08日	土	(1) 8	<del>(1) 9</del>	<del>(1) 10</del>	07mg	3		
7月	09日	日	(1) 11	(1) 12	<del>(1) 13</del>	14mg	4		
7月	10日	月	(1) 14	(1) 15	<del>(1) 16</del>	14mg	5		
7月	11日	火	(1) 17	(1) 18	<del>(1) 19</del>	14mg	6		
7月	12日	水	(1) 20	(1) 21	(1) 22	21mg	7		
7月	13日	木	(1) 23	(1) 24	(1) 25	21mg	8		
7月	14日	金	(1) 26	(1) 27	(1) 28	21mg	9		
7月	15日	土	(1) 29	(1) 30	(1) 31	21mg	10		
7月	16日	日	(1) 32	(1) 33	(1) 34	21mg	11		
7月	17日	月	(1) 35	<del>(1) 36</del>	(1) 37	14mg	12		飲み忘れた分のランダム例
7月	18日	火	(1) 38	(1) 39	(1) 40	21mg	13		
7月	19日	水	(1) 41	(1) 42	(2) 1	21mg	14		← 第3診察・第2回処方 治療開始約2週間後、めまいや不安感（診断がつかなかった眩暈発作に対する不安）が少し落ち着いてきた。注：ジャドスン医師の説明によると、これはベンゾジアゼピンの当初治療効果によるもの。

前処方の繰り越す可能な余分 0 (なし)

第1処方の実際余分 0

第1処方の実際不足分 0

第1処方の可能な余分 11+ (身体が薬に慣れる為、内服の漸進的開始

第1処方使用後の可能な余分の合計 11+ および飲み忘れた分のランダム例)

## 処方明細

処方	処方日	曜日	日数	内服分	担当医師
第2回	2000年7月19日	水曜日	30日分	90回分	X医師

## 実際の処方内服分数

月	日	曜日	朝	昼	夜	dzm	日数	備考
7月	20日	木	(2) 2	(2) 3	(2) 4	21mg	15	(祝日)
7月	21日	金	(2) 5	(2) 6	(2) 7	21mg	16	
7月	22日	土	<del>(2) 8</del>	(2) 9	(2) 10	14mg	17	飲み忘れた分のランダム例
7月	23日	日	(2) 11	(2) 12	(2) 13	21mg	18	
7月	24日	月	(2) 14	(2) 15	(2) 16	21mg	19	
7月	25日	火	(2) 17	<del>(2) 18</del>	(2) 19	14mg	20	飲み忘れた分のランダム例
7月	26日	水	(2) 20	(2) 21	(2) 22	21mg	21	
7月	27日	木	(2) 23	(2) 24	(2) 25	21mg	22	
7月	28日	金	(2) 26	<del>(2) 27</del>	(2) 28	14mg	23	飲み忘れた分のランダム例
7月	29日	土	(2) 29	(2) 30	(2) 31	21mg	24	
7月	30日	日	(2) 32	(2) 33	(2) 34	21mg	25	
7月	31日	月	(2) 35	(2) 36	(2) 37	21mg	26	
8月	01日	火	(2) 38	(2) 39	(2) 40	21mg	27	
8月	02日	水	(2) 41	(2) 42	(2) 43	21mg	28	
8月	03日	木	(2) 44	(2) 45	(2) 46	21mg	29	
8月	04日	金	(2) 47	(2) 48	(2) 49	21mg	30	← 第4診察 (処方なし)
8月	05日	土	(2) 50	(2) 51	(2) 52	21mg	31	体調の変わりはない
8月	06日	日	(2) 53	(2) 54	(2) 55	21mg	32	
8月	07日	月	<del>(2) 56</del>	(2) 57	(2) 58	14mg	33	飲み忘れた分のランダム例
8月	08日	火	(2) 59	(2) 60	(2) 61	21mg	34	
8月	09日	水	(2) 62	(2) 63	(2) 64	21mg	35	
8月	10日	木	<del>(2) 65</del>	(2) 66	(2) 67	14mg	36	飲み忘れた分のランダム例
8月	11日	金	(2) 68	(2) 69	(2) 70	21mg	37	
8月	12日	土	(2) 71	(2) 72	(2) 73	21mg	38	
8月	13日	日	(2) 74	(2) 75	(2) 76	21mg	39	
8月	14日	月	(2) 77	(2) 78	(2) 79	21mg	40	
8月	15日	火	(2) 80	<del>(2) 81</del>	(2) 82	14mg	41	飲み忘れた分のランダム例
8月	16日	水	(2) 83	(2) 84	(2) 85	21mg	42	
8月	17日	木	(2) 86	(2) 87	(2) 88	21mg	43	
8月	18日	金	(2) 89	(2) 90	(2) -1	21mg	44	
8月	19日	土	(2) -2	(2) -3	(2) -4	21mg	45	
8月	20日	日	(2) -5	(2) -6	(2) -7	21mg	46	
8月	21日	月	(2) -8	(2) -9	(3) 1	21mg	47	第5診察・第3回処方

前処方の繰り越す可能な余分

11+ (第1処方から)

第2処方の実際余分

0

第2処方の実際不足分

9-

第2処方の可能な余分

6+ (飲み忘れた分のランダム例)

第2処方使用後の可能な余分の合計

8+

## 処方明細

処方	処方日	曜日	日数	内服分	担当医師
第3回	2000年8月21日	月曜日	30	90	X医師

## 実際の処方内服分数

月	日	曜日	朝	昼	夜	dzm	日数	備考
8月	22日	火	(3) 2	(3) 3	(3) 4	21mg	48	
8月	23日	水	(3) 5	<del>(3) 6</del>	(3) 7	14mg	49	飲み忘れた分のランダム例
8月	24日	木	(3) 8	(3) 9	(3) 10	21mg	50	薬剤治療開始約1.5ヶ月後、継続的症狀、悪化する症狀、また新しい症狀が発現した（ジャドスン医師の第1意見書1.4.6事項参照）新しい症狀は、動悸や食欲低下など。19日に、これについて口頭でも文書でもX医師に訴えた。
8月	25日	金	(3) 11	(3) 12	(3) 13	21mg	51	
8月	26日	土	(3) 14	(3) 15	(3) 16	21mg	52	
8月	27日	日	<del>(3) 17</del>	(3) 18	(3) 19	14mg	53	
8月	28日	月	(3) 20	(3) 21	(3) 22	21mg	54	
8月	29日	火	(3) 23	(3) 24	(3) 25	21mg	55	
8月	30日	水	(3) 26	<del>(3) 27</del>	(3) 28	14mg	56	
8月	31日	木	(3) 29	(3) 30	(3) 31	21mg	57	
9月	01日	金	(3) 32	(3) 33	(3) 34	21mg	58	
9月	02日	土	(3) 35	(3) 36	(3) 37	21mg	59	
9月	03日	日	(3) 38	(3) 39	(3) 40	21mg	60	
9月	04日	月	(3) 41	(3) 42	(3) 43	21mg	61	
9月	05日	火	(3) 44	(3) 45	(3) 46	21mg	62	
9月	06日	水	(3) 47	(3) 48	(3) 49	21mg	63	
9月	07日	木	(3) 50	(3) 51	(3) 52	21mg	64	
9月	08日	金	<del>(3) 53</del>	(3) 54	(3) 55	14mg	65	飲み忘れた分のランダム例
9月	09日	土	(3) 56	(3) 57	(3) 58	21mg	66	
9月	10日	日	(3) 59	(3) 60	(3) 61	21mg	67	
9月	11日	月	(3) 62	(3) 63	(3) 64	21mg	68	
9月	12日	火	(3) 65	(3) 66	(3) 67	21mg	69	
9月	13日	水	(3) 68	(3) 69	(3) 70	21mg	70	
9月	14日	木	(3) 71	(3) 72	(3) 73	21mg	71	
9月	15日	金	(3) 74	(3) 75	(3) 76	21mg	72	(祝日)
9月	16日	土	(3) 77	(3) 78	(3) 79	21mg	73	
9月	17日	日	(3) 80	(3) 81	(3) 82	21mg	74	
9月	18日	月	(3) 83	(3) 84	(4) 1	21mg	75	第6診察・第4回処方

前処方の繰り越す可能な余分	8+	(第1,2処方から)
第3処方の実際余分	6+	
第3処方の実際不足分	0	
第3処方の可能な余分	4+	(飲み忘れた分のランダム例)
第3処方使用後の可能な余分の合計	18+	

## 処方明細

処方	処方日	曜日	日数	内服分	担当医師
第4回	2000年9月18日	月曜日	30	90	X医師

## 実際の処方内服分数

月	日	曜日	朝	昼	夜	dzm	日数	備考
9月	19日	火	(4) 2	(4) 3	(4) 4	21mg	76	私の体調は戻らず、むしろ悪化しているようでしたので、少し心配しはじめた。
9月	20日	水	(4) 5	(4) 6	(4) 7	21mg	77	
9月	21日	木	(4) 8	(4) 9	(4) 10	21mg	78	
9月	22日	金	(4) 11	(4) 12	(4) 13	21mg	79	
9月	23日	土	(4) 14	(4) 15	(4) 16	21mg	80	(祝日)
9月	24日	日	(4) 17	(4) 18	(4) 19	21mg	81	
9月	25日	月	(4) 20	(4) 21	(4) 22	21mg	82	
9月	26日	火	(4) 23	(4) 24	(4) 25	21mg	83	
9月	27日	水	<del>(4) 26</del>	(4) 27	(4) 28	14mg	84	飲み忘れた分のランダム例
9月	28日	木	(4) 29	(4) 30	(4) 31	21mg	85	
9月	29日	金	(4) 32	(4) 33	(4) 34	21mg	86	
9月	30日	土	(4) 35	(4) 36	(4) 37	21mg	87	
10月	01日	日	(4) 38	(4) 39	(4) 40	21mg	88	
10月	02日	月	(4) 41	(4) 42	(4) 43	21mg	89	
10月	03日	火	(4) 44	(4) 45	(4) 46	21mg	90	
10月	04日	水	(4) 47	(4) 48	(4) 49	21mg	91	
10月	05日	木	(4) 50	(4) 51	(4) 52	21mg	92	
10月	06日	金	(4) 53	(4) 54	(4) 55	21mg	93	
10月	07日	土	(4) 56	(4) 57	(4) 58	21mg	94	
10月	08日	日	(4) 59	(4) 60	(4) 61	21mg	95	
10月	09日	月	(4) 62	(4) 63	(4) 64	21mg	96	(祝日)
10月	10日	火	(4) 65	(4) 66	(4) 67	21mg	97	
10月	11日	水	(4) 68	(4) 69	(4) 70	21mg	98	
10月	12日	木	(4) 71	<del>(4) 72</del>	(4) 73	14mg	99	飲み忘れた分のランダム例
10月	13日	金	(4) 74	(4) 75	(4) 76	21mg	100	
10月	14日	土	(4) 77	(4) 78	(4) 79	21mg	101	
10月	15日	日	(4) 80	(4) 81	(4) 82	21mg	102	
10月	16日	月	(4) 83	(4) 84	(4) 85	21mg	103	
10月	17日	火	(4) 86	(4) 87	(4) 88	21mg	104	
10月	18日	水	(4) 89	(4) 90	(4) -1	21mg	105	
10月	19日	木	(4) -2	(4) -3	(4) -4	21mg	106	
10月	20日	金	(4) -5	(4) -6	(5) 1	21mg	107	第7診察・第5回処方

前処方の繰り越す可能な余分	18+	(第1, 2, 3処方から)
第4処方の実際余分	0	
第4処方の実際不足分	6-	
第4処方の可能な余分	<u>2+</u>	(飲み忘れた分のランダム例)
第4処方使用後の可能な余分の合計	14+	

処方明細

処方	処方日	曜日	日数	内服分	担当医師
第5回	2000年10月20日	金曜日	30	90	X医師

実際の処方内服分数

月	日	曜日	朝	昼	夜	dzm	日数	備考	
10月	21日	土	(5) 2	(5) 3	(5) 4	21mg	108	明確な診断がつかなかった眩暈発作による単なる不安感の質は変わり、パニック発作、激しい不安状態、抑うつ、気分動揺、攻撃性、混乱状態などが出現した。	
10月	22日	日	(5) 5	(5) 6	(5) 7	21mg	109		
10月	23日	月	(5) 8	(5) 9	(5) 10	21mg	110		
10月	24日	火	(5) 11	(5) 12	(5) 13	21mg	111		
10月	25日	水	(5) 14	(5) 15	(5) 16	21mg	112		
10月	26日	木	(5) 17	(5) 18	(5) 19	21mg	113		
10月	27日	金	(5) 20	(5) 21	(5) 22	21mg	114		
10月	28日	土	(5) 23	(5) 24	(5) 25	21mg	115		
10月	29日	日	(5) 26	<del>(5) 27</del>	(5) 28	14mg	116		飲み忘れた分のランダム例
10月	30日	月	(5) 29	(5) 30	(5) 31	21mg	117		
10月	31日	火	(5) 32	(5) 33	(5) 34	21mg	118		
11月	01日	水	(5) 35	(5) 36	(5) 37	21mg	119		
11月	02日	木	(5) 38	(5) 39	(5) 40	21mg	120		
11月	03日	金	(5) 41	(5) 42	(5) 43	21mg	121	(祝日)	
11月	04日	土	(5) 44	<del>(5) 45</del>	(5) 46	14mg	122	飲み忘れた分のランダム例	
11月	05日	日	(5) 47	(5) 48	(5) 49	21mg	123		
11月	06日	月	(5) 50	(5) 51	(5) 52	21mg	124	治療開始約4～6ヶ月後、私の体調はもっと悪化し、更に新しい症状が出現した（ジャドスン医師の第1意見書1.4.7事項参照）。  その為、私は服用中止の試みをしたようとしたが、できなかった（次頁参照）。  ジャドスン医師の説明によると、これは、私の依存状態が8月ごろの初期耐性から4～6ヶ月間の治療に伴う完全依存状態形成まで進行した事を維持する。	
11月	07日	火	(5) 53	(5) 54	(5) 55	21mg	125		
11月	08日	水	(5) 56	(5) 57	(5) 58	21mg	126		
11月	09日	木	(5) 59	(5) 60	(5) 61	21mg	127		
11月	10日	金	(5) 62	(5) 63	(5) 64	21mg	128		
11月	11日	土	(5) 65	(5) 66	(5) 67	21mg	129		
11月	12日	日	(5) 68	(5) 69	(5) 70	21mg	130		
11月	13日	月	(5) 71	(5) 72	(5) 73	21mg	131		
11月	14日	火	(5) 74	(5) 75	(5) 76	21mg	132		
11月	15日	水	(5) 77	(5) 78	(5) 79	21mg	133		
11月	16日	木	(5) 80	(5) 81	(5) 82	21mg	134		
11月	17日	金	(5) 83	(5) 84	(5) 85	21mg	135		
11月	18日	土	(5) 86	(5) 87	(5) 88	21mg	136		
11月	19日	日	(5) 89	(5) 90	(5) -1	21mg	137		
11月	20日	月	(5) -2	(5) -3	(5) -4	21mg	138		
11月	21日	火	(5) -5	(5) -6	(5) -7	21mg	139		
11月	22日	水	(5) -8	(5) -9	(5) -10	21mg	140		
11月	23日	木	(5) -11	(5) -12	(5) -13	21mg	141	(祝日)	
11月	24日	金	(5) -14	(5) -15	(6) 1	21mg	142	第8診察・第6回処方	

前処方の繰り越す可能な余分 14+ (第1, 2, 3, 4処方から)  
 第5処方の実際余分 0  
 第5処方の実際不足分 15-  
 第5処方の可能な余分 2+ (飲み忘れた分のランダム例)  
 第5処方使用後の可能な余分の合計 1+

## 処方明細

処方	処方日	曜日	日数	内服分	担当医師
第 6 回	2000 年 11 月 24 日	月曜日	30	90	X 医師

## 実際の処方内服分数

月	日	曜日	朝	昼	夜	dzm	日数	備考
11 月	25 日	土	(6) 2	(6) 3	(6) 4	21mg	143	
11 月	26 日	日	<del>(6) 5</del>	<del>(6) 6</del>	(6) 7	07mg	144	← 2 回分の内服を継続的に中止する試みの例 (ジャドスン医師の第 3 意見書 2.5.2 事項参照)
11 月	27 日	月	(6) 8	(6) 9	(6) 10	21mg	145	
11 月	28 日	火	(6) 11	(6) 12	(6) 13	21mg	146	
11 月	29 日	水	(6) 14	(6) 15	(6) 16	21mg	147	
11 月	30 日	木	(6) 17	(6) 18	(6) 19	21mg	148	
12 月	01 日	金	(6) 20	(6) 21	(6) 22	21mg	149	
12 月	02 日	土	(6) 23	(6) 24	(6) 25	21mg	150	
12 月	03 日	日	(6) 26	(6) 27	(6) 28	21mg	151	
12 月	04 日	月	(6) 29	(6) 30	(6) 31	21mg	152	
12 月	05 日	火	(6) 32	(6) 33	(6) 34	21mg	153	
12 月	06 日	水	(6) 35	(6) 36	(6) 37	21mg	154	
12 月	07 日	木	(6) 38	(6) 39	(6) 40	21mg	155	
12 月	08 日	金	(6) 41	(6) 42	(6) 43	21mg	156	
12 月	09 日	土	(6) 44	(6) 45	(6) 46	21mg	157	
12 月	10 日	日	(6) 47	(6) 48	(6) 49	21mg	158	
12 月	11 日	月	(6) 50	(6) 51	(6) 52	21mg	159	
12 月	12 日	火	(6) 53	(6) 54	(6) 55	21mg	160	
12 月	13 日	水	(6) 56	(6) 57	(6) 58	21mg	161	← S T R C 病院から新しい病院への紹介状の依頼
12 月	14 日	木	(6) 59	(6) 60	(6) 61	21mg	162	
12 月	15 日	金	(6) 62	(6) 63	(6) 64	21mg	163	治療のどこかが大間違えだと痛感していたから別の治療を求めようとしていた。
12 月	16 日	土	(6) 65	(6) 66	(6) 67	21mg	164	
12 月	17 日	日	(6) 68	(6) 69	(6) 70	21mg	165	
12 月	18 日	月	(6) 71	(6) 72	(6) 73	21mg	166	
12 月	19 日	火	(6) 74	(6) 75	(6) 76	21mg	167	
12 月	20 日	水	(6) 77	(6) 78	(6) 79	21mg	168	
12 月	21 日	木	(6) 80	(6) 81	(6) 82	21mg	169	M 医師の第 1 診察
12 月	22 日	金	(6) 83	(6) 84	(6) 85	21mg	170	
12 月	23 日	土	(6) 86	(6) 87	(6) 88	21mg	171	(祝日)
12 月	24 日	日	(6) 89	(6) 90	(6) -1	21mg	172	
12 月	25 日	月	(6) -2	(6) -3	(7) 1	21mg	173	X 医師の第 9 診察 (最終) ・ 第 7 回処方 新しい症状を文書また口頭でも改めて訴えた (甲 A26 参照)。

前処方の繰り越す可能な余分	1+	(第 1, 2, 3, 4, 5 処方から)
第 6 処方の実際余分	0	
第 6 処方の実際不足分	3-	
第 6 処方の可能な余分	2+	(2 回分使用中止の試み)
第 6 処方使用後の可能な余分の合計	0	

## 処方明細

処方	処方日	曜日	日数	内服分	担当医師
第7回	2000年12月25日	月曜日	30	90	X医師

## 実際の処方内服分数

月	日	曜日	朝	昼	夜	dzm	日数	備考
12月	26日	火	(7) 2	(7) 3	(7) 4	21mg	174	
12月	27日	水	(7) 5	(7) 6	(7) 7	21mg	175	
12月	28日	木	(7) 8	(7) 9	(7) 10	21mg	176	
12月	29日	金	(7) 11	(7) 12	(7) 13	21mg	177	
12月	30日	土	(7) 14	(7) 15	(7) 16	21mg	178	
12月	31日	日	(7) 17	(7) 18	(7) 19	21mg	179	
1月	01日	月	(7) 20	(7) 21	(7) 22	21mg	180	(祝日)
1月	02日	火	(7) 23	(7) 24	(7) 25	21mg	181	
1月	03日	水	(7) 26	(7) 27	(7) 28	21mg	182	
1月	04日	木	(7) 29	(7) 30	(7) 31	21mg	183	
1月	05日	金	(7) 32	(7) 33	(7) 34	21mg	184	
1月	06日	土	(7) 35	(7) 36	(7) 37	21mg	185	
1月	07日	日	(7) 38	(7) 39	(7) 40	21mg	186	
1月	08日	月	(7) 41	(7) 42	(7) 43	21mg	187	(祝日)
1月	09日	火	(7) 44	(7) 45	(7) 46	21mg	188	
1月	10日	水	(7) 47	(7) 48	(7) 49	21mg	189	
1月	11日	木	(7) 50	(7) 51	(7) 52	21mg	190	
1月	12日	金	(7) 53	(7) 54	(7) 55	21mg	191	
1月	13日	土	(7) 56	(7) 57	(7) 58	21mg	192	
1月	14日	日	(7) 59	(7) 60	(7) 61	21mg	193	
1月	15日	月	(7) 62	(7) 63	(7) 64	21mg	194	
1月	16日	火	(7) 65	(7) 66	(7) 67	21mg	195	
1月	17日	水	(7) 68	(7) 69	(7) 70	21mg	196	
1月	18日	木	(7) 71	(7) 72	(7) 73	21mg	197	
1月	19日	金	(7) 74	(7) 75	(7) 76	21mg	198	
1月	20日	土	(7) 77	(7) 78	(7) 79	21mg	199	
1月	21日	日	(7) 80	(7) 81	(7) 82	21mg	200	
1月	22日	月	(7) 83	(7) 84	(8) 85	21mg	201	病院を変えた。この時点で私の体力は殆ど消耗してしまって、混乱状態に陥って、心身的にも様々な症状に悩まされていた。

前処方の繰り越す可能な余分	0	(第1, 2, 3, 4, 5, 6処方から)
第7処方の実際余分	5+	
第7処方の実際不足分	0	
第7処方の可能な余分	<u>0</u>	
第7処方使用後の可能な余分の合計	5+	

11) (A) 治療期間 一月ごと内訳 (M医師)

年月	期間	日数	必要内服分数 (日数 x 3回分)
2001年01月	23日~31日	09日	27回分
2001年02月	01日~28日	28日	84回分
2001年03月	01日~31日	31日	93回分
2001年04月	01日~08日	08日	24回分
治療期間および必要な内服分数の合計		76日	228回分

12) (B) 実際の処方内服分数 (M医師)

処方番	処方日	曜日	実際の処方 内服日数分	実際の 内服分数
第8	2001年1月22日	水曜日	16日分	48回分
第9	2001年2月07日	水曜日	25日分	75回分
第10	2001年3月02日	月曜日	$28 + 9\frac{1}{8} = 37\frac{1}{8}$ 日分	$84 + 28 = 112$ 回分
実際の処方内服数の合計			$78\frac{1}{8}$ 日分	235回分

注：私は、3月にニュージーランドに帰国する為、M医師は3月分を多めに処方してくれました。それにより、ウィットウェル医師を受診した時まで足りました。

13) (C) 比較 (M医師)

治療期間及び必要内服分数	76日間	228回分
実際の処方内服分数	$78\frac{1}{8}$ 日間	235回分
余分の合計	$+2\frac{1}{8}$ 日間	+7回分

14) (A) 治療期間と、(B) 実際の処方内服分数を比較する事により、76日という治療日間に渡り7回分(2 $\frac{1}{8}$ 日間分)の内服が余った事が明らかになります。しかし、実は、余分はこれよりも多くなっていました。その理由、処方量(2月7日)により余分があつて、さらに内服中止の試みをして、そして4月初旬ごろ内服漸減を開始したからであります(15頁参照)。

15) M医師による処方内服の内訳は下記の通り。

注：ジアゼパム換算率は、ジャドスン医師が第4意見書で使ったものと同じです。

## 処方明細

処方	処方日	曜日	日数	内服分	担当医師
第8回	2001年1月22日	月曜日	16日分	48回分	M医師

## 実際の処方内服分数

月	日	曜日	朝	昼	夜	dzm	日数	備考
1月	23日	火	(8) 1	(8) 2	(8) 3	24mg	1	← 第1回新処方 (新しい処方開始日) 注：4頁に書いた通り、私は夜の 時、新しい内服を開始しない 習慣がある。
1月	24日	水	(8) 4	(8) 5	(8) 6	24mg	2	
1月	25日	木	(8) 7	(8) 8	(8) 9	24mg	3	
1月	26日	金	(8) 10	(8) 11	(8) 12	24mg	4	
1月	27日	土	(8) 13	(8) 14	(8) 15	24mg	5	
1月	28日	日	(8) 16	(8) 17	(8) 18	24mg	6	
1月	29日	月	(8) 19	(8) 20	(8) 21	24mg	7	
1月	30日	火	(8) 22	(8) 23	(8) 24	24mg	8	
1月	31日	水	(8) 25	(8) 26	(8) 27	24mg	9	
2月	01日	木	(8) 28	(8) 29	(8) 30	24mg	10	
2月	02日	金	(8) 31	(8) 32	(8) 33	24mg	11	
2月	03日	土	(8) 34	(8) 35	(8) 36	24mg	12	
2月	04日	日	(8) 37	(8) 38	(8) 39	24mg	13	
2月	05日	月	(8) 40	(8) 41	(8) 42	24mg	14	
2月	06日	火	(8) 43	(8) 44	(8) 45	24mg	15	
2月	07日	水	(8) 46	(8) 47	(9) 1	24mg	16	第2回新処方

前処方の繰り越す可能な余分	0	(なし)
第8処方の実際余分	1+	
第8処方の実際不足分	0	
第8処方の可能な余分	<u>0</u>	
第8処方使用後の可能な余分の合計	1+	

## 処方明細

処方	処方日	曜日	日数	内服分	担当医師
第9回	2001年2月7日	水曜日	25日分	75回分	M医師

## 実際の処方内服分数

月	日	曜日	朝	昼	夜	dzm	日数	備考
2月	08日	木	(9) 2	(9) 3	(9) 4	24mg	17	
2月	09日	金	(9) 5	(9) 6	(9) 7	24mg	18	
2月	10日	土	(9) 8	(9) 9	(9) 10	24mg	19	
2月	11日	日	(9) 11	(9) 12	(9) 13	24mg	20	← (祝日)
2月	12日	月	(9) 14	(9) 15	(9) 16	24mg	21	← (振替日)
2月	13日	火	(9) 17	(9) 18	(9) 19	24mg	22	
2月	14日	水	(9) 20	(9) 21	(9) 22	24mg	23	
2月	15日	木	(9) 23	(9) 24	(9) 25	24mg	24	
2月	16日	金	(9) 26	(9) 27	(9) 28	24mg	25	
2月	17日	土	(9) 29	(9) 30	(9) 31	24mg	26	
2月	18日	日	(9) 32	(9) 33	(9) 34	24mg	27	
2月	19日	月	(9) 35	(9) 36	(9) 37	24mg	28	
2月	20日	火	(9) 38	(9) 39	(9) 40	24mg	29	
2月	21日	水	(9) 41	(9) 42	(9) 43	24mg	30	
2月	22日	木	(9) 44	(9) 45	(9) 46	24mg	31	
2月	23日	金	(9) 47	(9) 48	(9) 49	24mg	32	
2月	24日	土	(9) 50	(9) 51	(9) 52	24mg	33	
2月	25日	日	(9) 53	(9) 54	(9) 55	24mg	34	
2月	26日	月	(9) 56	(9) 57	(9) 58	24mg	35	M医師の漸減療法計画に従って、の第二回目漸減療法 (一日3回から2回へ) ← の試み。
2月	27日	火	(9) 59	(9) 60	(9) 61	24mg	36	
2月	28日	水	(9) 62	(9) 63	(9) 64	24mg	37	
3月	01日	木	(9) 65	<del>(9) 66</del>	(9) 67	24mg	38	
3月	02日	金	(9) 68	(9) 69	(10) 1	24mg	39	第3回新処方

前処方の繰り越す可能な余分	1+	(第8処方から)
第9処方の実際余分	6+	
第9処方の実際不足分	0	
第9処方の可能な余分	<u>1</u>	(1回内服分による漸減の試み)
第9処方使用後の可能な余分の合計	8+	

処方明細

処方	処方日	曜日	日数	内服分	担当医師
第10回	2001年3月2日	金	28 + 9 ½ = 37½日分	84 + 28 = 112回分	M医師

実際の処方内服分数

月	日	曜日	朝	昼	夜	dzm	日数	備考
3月	03日	土	(10)2	(10)3	(10)4	24mg	40	
3月	04日	日	(10)5	(10)6	(10)7	24mg	41	
3月	05日	月	(10)8	(10)9	(10)10	24mg	42	
3月	06日	火	(10)11	(10)12	(10)13	24mg	43	
3月	07日	水	(10)14	(10)15	(10)16	24mg	44	
3月	08日	木	(10)17	(10)18	(10)19	24mg	45	
3月	09日	金	(10)20	(10)21	(10)22	24mg	46	
3月	10日	土	(10)23	(10)24	(10)25	24mg	47	
3月	11日	日	(10)26	(10)27	(10)28	24mg	48	
3月	12日	月	(10)29	(10)30	(10)31	24mg	49	
3月	13日	火	(10)32	(10)33	(10)34	24mg	50	
3月	14日	水	(10)35	(10)36	(10)37	24mg	51	
3月	15日	木	(10)38	(10)39	(10)40	24mg	52	
3月	16日	金	(10)41	(10)42	(10)43	24mg	53	
3月	17日	土	(10)44	(10)45	(10)46	24mg	54	
3月	18日	日	(10)47	(10)48	(10)49	24mg	55	
3月	19日	月	(10)50	(10)51	(10)52	24mg	56	
3月	20日	火	(10)53	(10)54	(10)55	24mg	57	(祝日)
3月	21日	水	(10)56	(10)57	(10)58	24mg	58	
3月	22日	木	(10)59	(10)60	(10)61	24mg	59	
3月	23日	金	(10)62	(10)63	(10)64	24mg	60	
3月	24日	土	(10)65	(10)66	(10)67	24mg	61	
3月	25日	日	(10)68	(10)69	(10)70	24mg	62	日本出国
3月	26日	月	(10)71	(10)72	(10)73	24mg	63	ニュージーランド着 (帰国)
3月	27日	火	<del>(10)74</del>	<del>(10)75</del>	(10)76	08mg	64	← 第3 & 4回目漸減の試み。 第3回目漸減の試みとしては、 2回分の内服を継続的に中止し ようとしたが、できなかった。  その為、再びM医師の漸減療法 計画に従って1回分だけで、も う1度、漸減の試みしてみた。 その結果、漸減できたことはで きたが、酷い離脱症状に悩まさ れていたため、その翌日(29日) ウィットウェル医師を受診す ることとした。
3月	28日	水	(10)77	<del>(10)78</del>	(10)79	16mg	65	

## 漸減段階

月	日	曜日	朝	昼	夜	dzm	日数	備考
3月	29日	木	(10)80		(10)81	16mg	66	← ウィットウェル医師の第1 診察。
3月	30日	金	(10)82		(10)83	16mg	67	
3月	31日	土	(10)84		(10)85	16mg	68	
4月	01日	日	(10)86		(10)87	16mg	69	ベンゾジアゼピンは非常に中毒 性の強い薬物であるという説明 を受け、1日2回服用での漸減 療法を維持するように勧められ た。
4月	02日	月	(10)88		(10)89	16mg	70	
4月	03日	火	(10)90		(10)91	16mg	71	
4月	04日	水	(10)92		(10)93	16mg	72	
4月	05日	木	(10)94		(10)95	16mg	73	
4月	06日	金	(10)96		(10)97	16mg	74	
4月	07日	土	(10)98		(10)99	16mg	75	
4月	08日	日	(10)100		(10)101	16mg	76	

前処方の繰り越す可能な余分	8+	(第8,9処方から)
第10処方の実際余分	11	(1日2回服用での漸減療法による)
第10処方の実際不足分	0	
第10処方の可能な余分	<u>3</u>	(第3&4回目漸減の試み)
第10処方組使用後の可能な余分の合計	22+	

注：漸減段階の詳しい内訳については、ジャドスン医師の第4意見書1.6事項参照。